

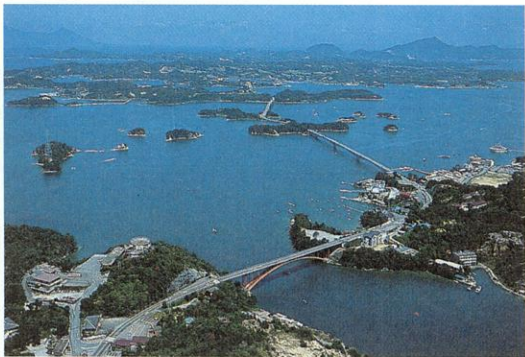
地域の動き

シリーズ③

自然を生かす開発で未来をつくる。天草地域

美しい島々と五橋

天草地域は、豊かな海と温暖な気候に恵まれた美しい島国です。かつてギリシヤン文化が開花するなど独自の風土・文化を形成してきました。



天草五橋

他の地域との往来に船旅を必要としていた天草に、天草五橋が開通し、陸路交通の道が開かれたのは昭和四十一年のこと。今年で記念すべき三十周年を迎えています。

地域発展の方向 現在、天草では、他の地域よりも過疎化、高齢化が進むなどの課題を抱えています。このため、県では、地元市町などと協力しながら、交通基盤の整備や、基幹産業



である一次産業の振興、海洋リゾート構想の推進、やさしいまちづくりなどの施策を進め、地域の活性化に努めています。



リゾートの中心、マリンレジャー

天草海洋リゾート基地建設構想

天草を海のリゾート地として整備し、地域の魅力を高めることによって、人的・経済的交流を通して地域の活性化を図ることを目的としており、現在、ゴルフ場やマリナー整備などの民間事業のほか、地元市町による家族向けリゾートづくりが進められています。

交通体系の整備

平成六年に熊本〜天草幹線道路が「地域高規格道路」(六十〜八十km/hで走れる質の高い道路)の指定を受け、熊本市圏と天草

地域との移動時間の短縮の実現に向けて大きく前進しました。

現在、松島町内で工事に着手しており、さらに松島町から有明町内でも計画の説明を行っています。また、本渡市と五和町にまたがる丘陵地帯に天草空港の建設を進めています。

天草と長崎県島原、鹿児島県長島とを二つの大橋で結ぶ構想が「島原・天草・長島架橋構想」です。九州西岸地域が一つの経済文化圏として大きく飛躍することが見込まれます。現在、国に対して実現に向けた運動を力強く展開しています。

力強い産業づくり

天草地域の漁業は、県内の漁業生産額の約六十五パーセントを占めています。単に「とる漁業」から「作り育てる漁業」への転換が求められる中、先端技術を駆使した漁場の開発、魚しやうや養殖場などの造成を進めています。

また、農林業については、生産基盤の整備や多彩な産物の高品質・高付加価値化を進めています。



漁港の水揚げ

くまもと物語①

空の玄関、熊本空港。広がりゆく私たちの翼。

日帰りの旅なのか、小さなカバンひとつだけのビジネスマン。屋上の送迎デッキで飛行機が見えなくなるまで手を振る母と子。小走りに駆け寄って、老夫婦に飛びつく小さな子ども。

旅立ち、別れ、再会。空港には、さまざまな人々が行き交います。そして、そこで生まれる数え切れないドラマの一つひとつを、空港は見てきたことでしょう。

今回のくまもと物語は、熊本の空の玄関「熊本空港」の過去、現在、未来について見てください。



熊本空港の四半世紀。

熊本空港が現在の地に開港したのは昭和四十六年、今から二十五年前のことです。熊本市健軍町にあった旧空港が手狭になったために、現在の高遊原台地に移転しました。

当時は、日本が驚異的な高度成長をみせた時代。新空港開港と同時に、ジェット機が初就航し、東京・名古屋・大阪との距離をぐっと縮めました。

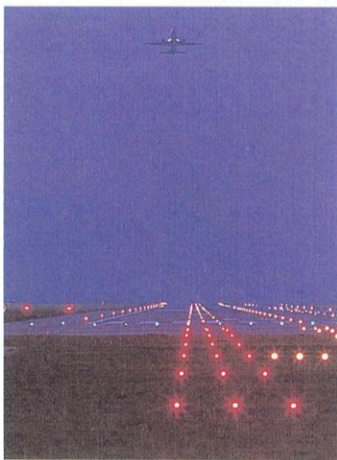
現在では、国内線として沖縄線、札幌線が加わり、国際線も一路線就航し、国内・国際線を合わせて一週間あたり百五十二往復の旅客定期便が就航しています。利用者数も年々増加しており、平成七年度は約二百五十万人を超えています。また、昭和五十四年に就航した熊本・ソ

ウル線も初めて二万人を突破しました。

熊本空港、そしてここを飛び立つ空の便が、私たち熊本県民にとってなくてはならないものとして定着してきたことを示しています。

そして、未来へ。 昨年は、長年の課題であった霧による欠航対策として最新鋭の計器着陸装置カテゴリーIIIの運用が開始されて効果をあげています。また、来年からは増加する利用者のために国内線ビルの増築工事が始まります。

霧による欠航対策として最新鋭の計器着陸装置カテゴリーIIIの運用が開始されて効果をあげています。また、来年からは増加する利用者のために国内線ビルの増築工事が始まります。



さらには、東京便やソウル便の増便、新規路線の開拓などの取り組みも行われています。熊本空港はますます使いやすく便利になっていくことでしょう。

今年開催される「熊本国際建築展」や来年開催の「男子世界ハンドボール選手権大会」などの国際的イベントには、海外からのお客さまも数多く来熊される予定です。こうした方々を快適にお迎えするのも、熊本空港の大きな仕事です。 国内へ海外へと広がる私たちの翼。旅先での出会いと感動もまた、熊本空港の成長とともに、広がり深まっていくことでしょう。

ゆたかさ多彩 生活創造 くまもと 08 総広 ③ 004-1 この印刷物は再生紙を使用しています。

あて先 〒862-170 熊本県広報課「県からのたより」係 ※〒862-170をお使いいただきますと、県庁の住所「熊本市水前寺6-1-8-1」は記入不要です。 ☎096-1385-12096 FAX 096-1386-12040

読者の方々のご意見をお待ちしています。 「県からのたより」に対するご意見、ご感想をお待ちしています。 どのしお寄せください。

1997 世界ハンドボール選手権in熊本 マスコットキャラクターの飛勇太

平成11年開催・第54回国民体育大会 人、光る。くまもと未来国体 1999 平成11年開催 [夏季大会] 9月11日(土)~14日(火) [秋季大会] 10月23日(土)~28日(木)